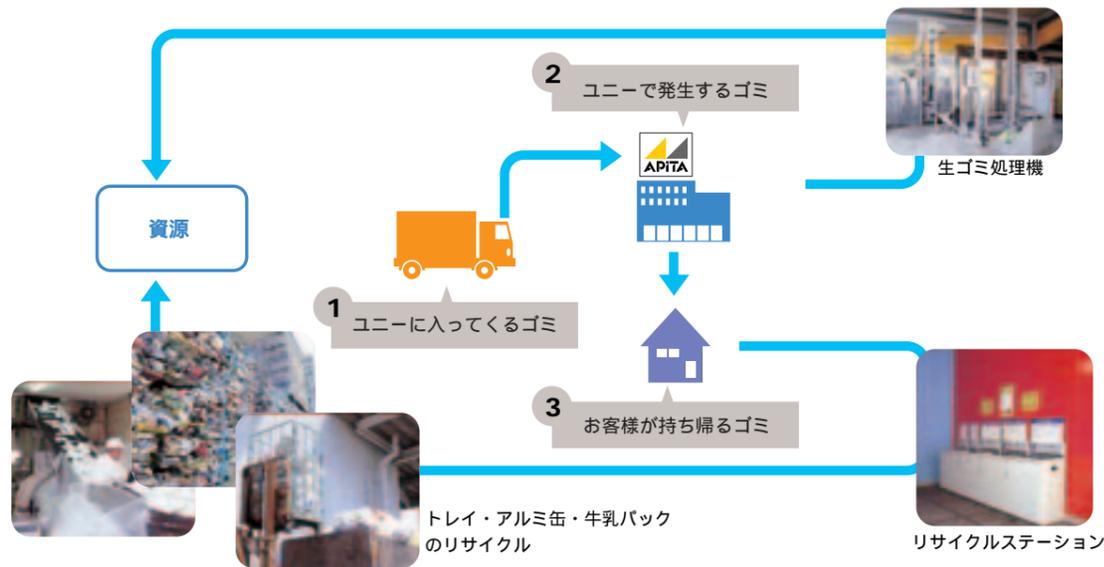


廃棄物をできるだけ削減するよう努めています

廃棄物の排出をできるだけ削減するために「廃棄物を店舗へ持ち込まない」、「店舗で発生する廃棄物をリサイクルする」ことに取り組んでいます。

また、食品トレイや飲料の缶、牛乳パックなど、お客様が商品としてお持ち帰りになった後で発生する「ゴミ」を再生資源としてリサイクルボックスで回収し、原料として再利用するリサイクルシステムをお客様と一緒に実施しています。

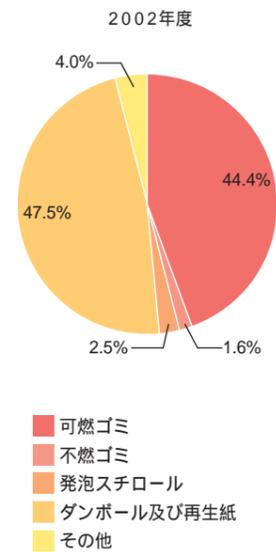
廃棄物削減のためのシステム



年間廃棄物排出量

(単位: kg)

		2001	2002
可燃ゴミ	焼却		
	一般可燃ゴミ	11,144,530	11,012,710
	雑紙	13,358	13,200
	ビニール(食品系)	146,940	145,202
	小計	11,304,828	11,171,112
	焼却		
	生ゴミ	19,688,988	19,456,102
	魚のあら	5,691,535	5,624,214
	てんかす	609,705	602,493
	廃食用油	—	905,154
小計	25,990,228	26,587,963	
合計	37,295,056	37,759,075	
不燃ゴミ	ビン	545,777	539,321
	缶	827,252	817,467
	合計	1,373,029	1,356,788
発泡スチロール	発泡スチロール	2,177,382	2,151,627
ダンボール及び再生紙	ダンボール	40,184,238	39,708,928
	紙類	618,292	610,979
	合計	40,802,530	40,319,907
その他	プラスチック	582,035	575,150
	ビニール(衣住系)	2,285,201	2,258,171
	PPバンド	67,745	66,944
	ペットボトル	157,436	155,573
	陶器、ガラス	105,911	104,658
	金属カス	135,490	133,887
	廃家電	20,037	19,800
	粗大ゴミ	25,762	25,457
	産業廃棄物	29,579	29,229
	合計	3,409,196	3,368,869
	総排出量	85,057,193	84,956,266



1 ユニーに入ってくるゴミ



商品搬入時に商品を入れてきたダンボール箱や発泡スチロールの容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。



通い箱(オリコン)

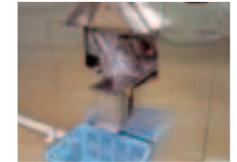
2 ユニーで発生するゴミ



店の中での販売活動や商品加工・サービスから発生する廃棄物をリサイクル資源にする取り組みをしています。

食品廃棄物の再資源化

野菜や鮮魚・精肉などを調理して販売するために、食品廃棄物が発生します。また、売れ残りや飲食の食べ残しも食品廃棄物になります。食品廃棄物を食品リサイクル法に従って再生利用しています。(詳細はP21~22参照)



発泡スチロールも再資源化

食品トレイ・発泡スチロールなどは店舗で1次処理して、リサイクル工場に持ち込み、再生資源として活用しています。



トレイはフラワーポットに

生鮮食品などに使われる発泡スチロールトレイは工場でフラワーポットやベンチの原料に再生しています。



ダンボールは100%リサイクル

使用済みのダンボールは古紙業者に委託し、100%再生資源として有効活用されています。

3 お客様が持ち帰るゴミ



商品と一緒に持ち帰られる包装紙やレジ袋も、使用済みになればゴミになります。できるだけ家庭での廃棄物の発生が抑制されるように、包装資材の簡易化やお買物袋持参運動を実施しています。また、牛乳パック(再生紙の原料)やアルミ缶(再生アルミの原料)、食品トレイ(再生プラスチックの原料)は、各店舗にリサイクルボックスを設置し、ゴミの再生利用をお客様と一緒に取り組んでいます。



ユニーの取り組みをお伝えします。